

一般質問

9月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。（順不同）

Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等（執行機関）に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



市政振興のため職員の働き方改革と待遇改善を！
【志政会】長嶋 一樹

Q 職員の身分、権利等を擁護する職員組合からの適正規模の職員配置についての要望にどのように対処しているのか、また、本市を職場として優先的に選択してもらうためには何が必要であると考えられているのか、市の考えを伺う。

採用の確保に努めているところである。

また、本市を職場として選択してもらうために給与等の待遇面において、情勢適応の原則により、本市だけ待遇をよくすることは難しい状況である。本市で働く選択肢を持つてもらえるよう、本市や本市で働く魅力を知っていただくと同時に、誰もが働きやすい職場環境を整えることで魅力的な職場にする必要があると考えている。



市長がこどもの育成について大切にすることは何か
【進風会】荻野 貴文

Q 子どもの育成は正解がなく、とても難しいと感じる。子どもの育成に大切なこと、大切にしていきたいことを市長に伺う。

A 【市長】本市には、歴史、文化など、他市にないものがたくさんある。そうしたものを使った中で教育が一番大事だと

思うている。ぜひそれをも活用しながら子どもの育成を行っていききたい。子どもには夢を、働く人には希望を、お年寄りには安心をモットーにまちづくりを行っていく。

【その他の質問】
◎いせはらの未来に向けた空き家課題とまちづくりについて



文化財の魅力を全国に広めるための戦略について
【いせはら未来会議】安藤 玄一

Q デジタルコンテンツの活用は伊勢原市の文化的遺産を守りつつ、多くの人々にその価値を知ってもらう絶好の機会だと考える。市がこの提案を真剣に考慮し、実現可能な計画を立てていくことを強く希望するが、見解を伺う。

伝え、地域の魅力を高めるとともに、所有者等にもメリットがあり、結果として本市の文化財の継承に資することとなる。市として、文化財の保存と活用の両面を目指し、関係組織と連携を図りながら、デジタル情報の発信をより充実させていく取り組みに努めていく。



定年延長の動向について（自治会議員の担い手不足）
【志政会】大垣 真一

Q 自治会議員の担い手不足の課題に対し、地域力創造アドバイザーを活用し、持続可能な地域コミュニティの実現に向けた調査研究を始めています。地域力創造アドバイザーは課題に対して具体的にどのような役割を担うものなのか伺う。

性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家である。本市における地域課題や自治会など地域コミュニティの課題などに対し、将来に向けてどのように対処していく必要があるのか、ともに考える役割を担うていただく予定である。今年度は、アンケートを行う際の手法や検証方法などについて助言をいただくほか、人口動態などを踏まえた本市の地域課題等に対して、先進市の

A 【市民生活部長】地域力創造アドバイザーは、総務省の地域人材ネットワークに登録している地域活



市民の健康増進のため、全天候型プールの整備を
【志政会】埴田 巖

Q 今後、学校プールの在り方の検討を進める中で、天候や気温に左右されない、厚木市や秦野市のような全天候型のプールを公共施設として整備すべきと考える。また、少子化問題もあるため、授業以外に市民に開放することとで市民の健康増進にもつながると考えるが、市の見解を伺う。

令和5年3月に策定した公共施設再配置プランにおいて、学校の適正配置等の検討を踏まえ、鈴川公園のプール施設と一体的に今後の在り方について検討することを位置づけている。今後、関係部署と連携しながら同プランに基づく検討を行うっていく。



自治体DX-ICT活用による市民の利便向上
【いせはら未来会議】森尾 武史

Q 自治体DXにおいて、ネット上で完結する公共施設の予約や、電子マネー決済の対応は当たり前とも言えるポイントであり、市民の利便性アップへの効果は極めて高いと考えるが、市の見解を伺う。

用者登録申請書の提出などアナログ的な手続が混在している。しかし、手続の簡素化やデジタル化は今後必要であり、これを実現するための方法について検討していく。キャッシュレス化については、伊勢原市ICT推進計画のアクションプランに公共施設使用料のキャッシュレス化を位置づけ、関連各課で検討を進めているところである。

A 【行政経営担当部長】公共施設の利用については、利用できる方々の要件が施設ごとに異なることから、現在、要件の確認のために窓口での利



成瀬地区を含む東地区の消防力について
【創政会】小沼 富夫

Q 最近の住宅開発や産業系土地利用の観点から、成瀬地区の人口増加を考えると、東地区の消防力の強化が必須と考えるが、見解を伺う。

については神奈川県下消防相互応援協定により、隣接する厚木市消防署管内からも出動し、対応していただいている。また、救急出動については、伊勢原市消防署の組織等に関する規程に基づき、受け持ち区域の救急隊が出動し、対応している。

A 【消防長】成瀬地区を含む東地区は、大規模な住宅地や商業施設、大型倉庫などの産業施設が存在し、重要な地域の一つと認識している。特に、成瀬地区内の高森台地内は、他の地区内と比較すると、災害現場到着までに時間を要することが課題となっている。

令和7年4月からの秦野市伊勢原市共同消防指令センター運用開始後は、災害現場に最も近い救急隊が出動する体制に切り替えることで消防力の強化を図る予定である。

【その他の質問】
◎ふるさと納税について

議会のインターネット中継をご覧ください

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、ライブ配信（生中継）と録画配信をしています。

「傍聴に行けない」「外出先から議会中継を見たい」等の理由で議会に来ることができない方も、積極的にご利用ください。

令和4年6月定例会の録画配信分より、会議録へのリンク機能、中継映像の字幕機能が追加されました。※各機能とも、会議録の公開にあわせての対応となります



伊勢原市議会 検索

